

平成30年度 第2回 池田町地域公共交通協議会 議事概要

- 日 時 平成30年11月19日（月）
午後7時00分～9時00分
- 場 所 能楽の里文化交流会館2階大会議室
- 出席者 委 員：出席委員13名 代理出席者1名 欠席委員1名
事務局：総務政策課 課長 山崎、主幹 山品、主事 梅田・松原
オブザーバー：福井市地域交通課 荒谷副主幹、八木主事
- 傍聴人 町民4名、報道1名

□会議内容

1. 会長あいさつ

会長の川本委員より第1回会議の振り返りを交えたあいさつが行われた。

2. 報告事項

(1) 第1回会議の議事概要の確認

第1回地域公共交通協議会の議事概要（案）について事務局より説明が行われ、意見なしにより正式な議事録として確定された。

(2) 第1回会議での意見について

第1回会議で出た意見について事務局より説明が行われ、これらの意見を踏まえ協議に入った。

3. 協議事項

(1) 京福バス池田線の代替案について

京福バス池田線の代替案について事務局より説明が行われた。

また、協議事項に関連して、以下の説明が行われた。

○自家用有償旅客運送について

自家用有償旅客運送について中部運輸局福井運輸支局畑委員より説明が行われた。

○福井市の取り組みについて

福井市地域コミュニティバス運行支援事業、自治会輸送活動について福井市地域交通課荒谷副主幹、八木主事より説明が行われた。

□協議・意見交換

○ルートについて

角間方面への延伸についての意見があった。主な内容は以下のとおり。

廣田委員：角間方向から福井へ行けるルートについても検討してほしい。
町内に あって角間方面の方がその路線が使えない現状は見直す必要があると思う。

福山委員：当社路線と重複するようであれば、当社路線の存在価値の問題ともなる。

○バス車両について

板倉委員よりバス車両の定員について質問があり、事務局より乗車定員10人のワゴン車を想定している旨の説明がなされた。

○運休日について

板倉委員より運休日について質問があり、事務局より年末年始を想定している旨の説明がなされた。

○安全管理について

運転距離や運行管理など、安全管理の観点から意見が交わされた。主な内容は以下のとおり。

板倉委員：福井市まで長距離となるが、長距離運転について事例はあるか。本当に怖いのは事故だと思うがどう考えているか。

事務局：福井駅まで片道33km程あり、この距離であれば可能ではと考えている。安全管理が一番大事だと考えている。

川村委員：警察としても誰が安全を管理するかが気になるところ。自家用有償運送と一般旅客運送とで国交省の及ぶ権限の違いはあるか。

畑委員：自家用車両で運行している福井市・大野市・南越前町の3市町で30kmを超える運行はないと思われる。制度的には30kmを超えるからできないということはない。案として、旧美山町の結節点（美山駅等）まで行き、乗り継ぎで福井駅まで行く手段もある。自家用有償運送と一般旅客運送とで国交省の及ぶ権限の違いはあり、法的に一般旅客運送については厳しい規則があるが、自家用有償運送にはそれほど厳しい規則はない。

川村委員：事業者であれば毎朝点呼、車の管理等実施するが、町が主体となるということで、管理専門の職員を設置する等を踏まえ計画して頂きたい。

川本委員：毎日3往復、長距離であり人数も必要となる。可能かどうか検討するためにも午前午後でシフトを分けて行うなど、具体的なものを出してほしい。次回までの要検討事項である。

○町民が運転手となる代替案について

溝口委員より代替路線が必要だということ、運行は町民が担うことについて、全委員に対して賛否が問われ、その方向性について概ね合意が得られた。ただし、運転手の確保や安全管理などについて検討するよう意見が出された。

野瀬委員：住民の中で運転手いればその方向でいいと思うが、安全管理に検討の余地があり、なかま号との接続など全体を網羅するようなバスを考えて頂きたい。

廣田委員：住民が運転手となって組織として維持できるのが理想ではあるが、安全等について不安がある。町民の負担も大きくなると、数年後には無くなるではないか。福井駅前までという路線設定だが、通院なら済生会まで、通学なら鯖江駅接続など目的ごとの路線の設定があってもよいと思う。

赤坂委員：案について賛成。

森田委員：案について賛成。観光協会としては2次交通で利用できるとよいと思う。

富田委員：便数が増える点など良いと思う。町民運転手の負担が大きいのであれば、プロとの協働なども検討できるのでは。高齢化率60.8%の自治会の方が地域活動を頑張っているところもあり、高齢化率40.3%の池田町はまだいけるのではと感じる。

板倉委員：こういう取組みは良いと思う。事業者としてやれるかと言うと運転手の確保等厳しいものがあるので、安全にやっていただけたら良いと思う。

福山委員：提案内容について申し分ないと思うが、当社の武生方向と池田町が運行する福井方向で大きなサービスの差が発生するようであれば、武生方向も悪化していく形になる。始発地点が魚見になることがあれば、当社路線をどうするかという話しになる。

大久保委員：案について賛成。酒生コミュニティ等の地域で行っている新聞記事を町内に配る、無料券を配布するなど地域で一緒にや

っている取組みを池田町でも取り入れるとよいのではないか。地域に見えるバスにするには、住民の方と一緒にやっていくのが良いと思うため、この方法が得策だと思う。

4. その他

○次回の会議に向けて

川本委員より、次回提示すべき内容についての提案が行われた。

- ・運転手の確保について
- ・安全管理について
- ・運行にかかる費用について
- ・運賃について
- ・今後考えるべき内容について（他の地域、なかま号・福鉄バスとの関係性について）

○今後のスケジュールについて

川村委員より今後のスケジュールについて質問があり事務局が説明を行った。

○バスの名前について

溝口委員よりバスの名前について、次回会議ではアイデアを出し合うような会議になると良いと希望があった。

○町民への周知について

川本委員より、町民への周知について提案が行われ、会議を終了した。